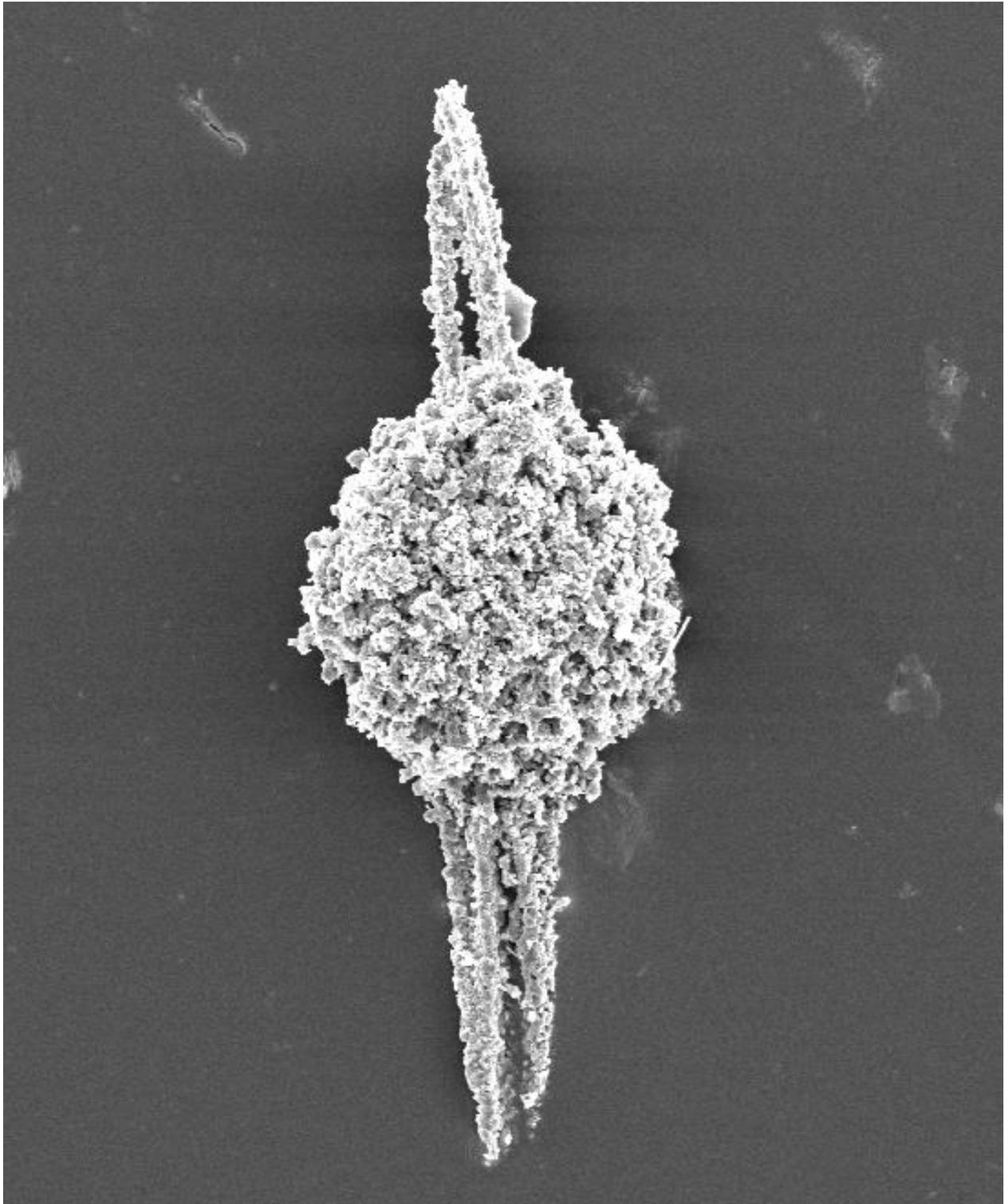


— 2019. 6. 1 —

月刊アンモナイト通信

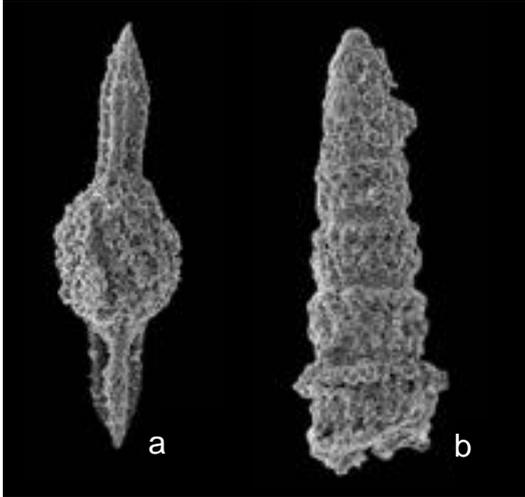
Vol. 1, no. 3



表紙の化石は、三畳紀放散虫 *Pseudostylosphaera japonica*. 中期～後期三畳紀を示す示準化石で、双葉層群を不整合に覆う古第三系石城層中のチャート礫から産出し、2019年1月の学会において発表されたもの。

今月のイチオシ化石紹介

体験発掘の露頭からは「大型化石」以外に微化石の放射虫化石も見つかっている。放射虫化石は化石密集層中のチャート礫や泥岩礫に入っているため、発掘中に肉眼で確認することは難しい。採取した礫をフッ化水素酸を用いて処理すると個体として抽出できるので、抽出したものを電子顕微鏡で撮影して種の同定を行う。



表紙及び図 1 に示した放射虫は発掘露頭から産出したものではないが、同じ種類の放射虫化石が発掘露頭のチャート礫からも産出している。これらの放射虫化石は Sugiyama (1997)によると中期～後期三畳紀の年代を示しており、ジュラ紀付加体からもたらされたものと考えられる。

微化石は世界中から見つかるため、示準化石として大変に有用であるが、残念ながら現在までに発掘露頭の母岩である砂岩もしくはノジュールからの産出は確認されておらず、その発見が望まれる。

図 1. a) *Pseudostylosphaera japonica*. b) *Triassocampe deweveri*.

(参考文献)

Sugiyama, K., 1997. Triassic and Lower Jurassic radiolarian biostratigraphy in the siliceous claystone and bedded chert units of the southeastern Mino Terrane, Central Japan. Bulletin of the Mizunami fossil Museum, 24; 79-193.

5月の行事報告

- ・体験発掘
開催回数：21回
- ・特別体験発掘
開催回数：2回

6月の行事予定

- ・体験発掘（毎週土曜・日曜の10時～11時30分及び13時30分～15時、但し雨天中止）

お知らせ（重要！）

例年暖かくなりますと、軽装で発掘体験に来られる方が多くなります。HP や館内表示でもご案内しておりますが、体験発掘に参加される際は**運動靴または長靴**の着用をお願い致します。サンダル（クロックス含む）や踵の高い靴での体験発掘場への入場は安全確保のため、お断りしております。皆さまのご理解とご協力をお願い致します。

Notice!! Notice!!

いわき市アンモナイトセンター



〒979-0338 福島県いわき市大久町大久字鶴房 147-2

TEL : 0246-82-4561 FAX : 0246-82-4468

URL : <http://www.ammonite-center.jp>

E-mail : info@ammonite-center.jp